

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
【発行日】 平成 16 年 10 月 14 日 (2004.10.14)

【公開番号】 特開 2001-185975 (P2001-185975A)
【公開日】 平成 13 年 7 月 6 日 (2001.7.6)
【出願番号】 特願 平 11-364954
【国際特許分類第 7 版】
H 0 3 H 9/145
【F I】
H 0 3 H 9/145 C

【手続補正書】
【提出日】 平成 15 年 10 月 6 日 (2003.10.6)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 特許請求の範囲
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

基板と、該基板上に少なくとも第一の圧電材料からなる第一の層及び該第一の圧電材料とは異なる第二の圧電材料からなる層からなる積層構造を有することを特徴とする表面弾性波素子。

【請求項 2】
第一の圧電材料と第二の圧電材料は、結晶系が同じであることを特徴とする請求項 1 記載の表面弾性波素子。

【請求項 3】
第一の圧電材料はタンタル酸リチウムであり、第二の圧電材料はニオブ酸リチウムであることを特徴とする請求項 1 記載の表面弾性波素子。

【請求項 4】
前記第一の圧電材料からなる第一の層及び該第一の圧電材料とは異なる第二の圧電材料からなる層の積層構造を基板上に複数有する請求項 1 記載の表面弾性波素子。

【請求項 5】
前記基板として $\alpha\text{-Al}_2\text{O}_3$ を用い、前記第一の圧電材料及び前記第二の圧電材料として該基板と同じ結晶系を用いることを特徴とする請求項 1 記載の表面弾性波素子。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0007
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明の表面弾性波素子は、基板と、該基板上に少なくとも第一の圧電材料からなる第一の層及び該第一の圧電材料とは異なる第二の圧電材料からなる層からなる積層構造を有することを特徴とする。